

# JICAボランティアセミナー

～世界に笑顔を広げるシゴト～

6/19(金)

3-4限



## 僕たちにできることは必ずある

【会場】 大学教育棟 3F

ラーニングcommons アカデミックスクエア

【当日プログラム】 6/19 (金)

11:00-11:15 JICAボランティア事業概要

11:15-12:20 ウガンダ 体験談発表

12:20-12:40 質疑応答・アンケート記入

青年海外協力隊経験者が、ウガンダでの体験談を語り、国際協力や国際交流について考えるきっかけにしてください。

ボランティアに関心を持っている方から、あまり知らないという方まで、お気軽にご参加ください。

ウガンダってどんなところ？文化は？言語は？稲作普及って何をするの？協力隊経験者が皆さんの疑問にお答えします！

主催：文学部コミュニティ（担当：太田）

体験談発表者

平野 裕士 氏

職種：村落開発普及員

派遣国：ウガンダ（アフリカ）



小中高大学と野球に取り組む。大学の途中で方向転換し、高校のときに国連職員の講演を聞いて知った途上国の現状へ目を向けることになる。その後大学院へ進学。2年間の在学後、休学し協力隊へ参加。現在復学中。

要請内容は稲作普及。ネリカ米を始め、稲作普及を目的に派遣される。もともと農業の専門性はなく、アフリカの農業に関心があり応募。農業は専門性を必要とするが、村落開発普及員としての農業従事も不可欠。現地の人々とともに農業をすることで学び、問題や課題を見つけ、農家と一緒に考えること、そして解決するためにはどうするか、周りを巻き込んで行うことが必要だった。